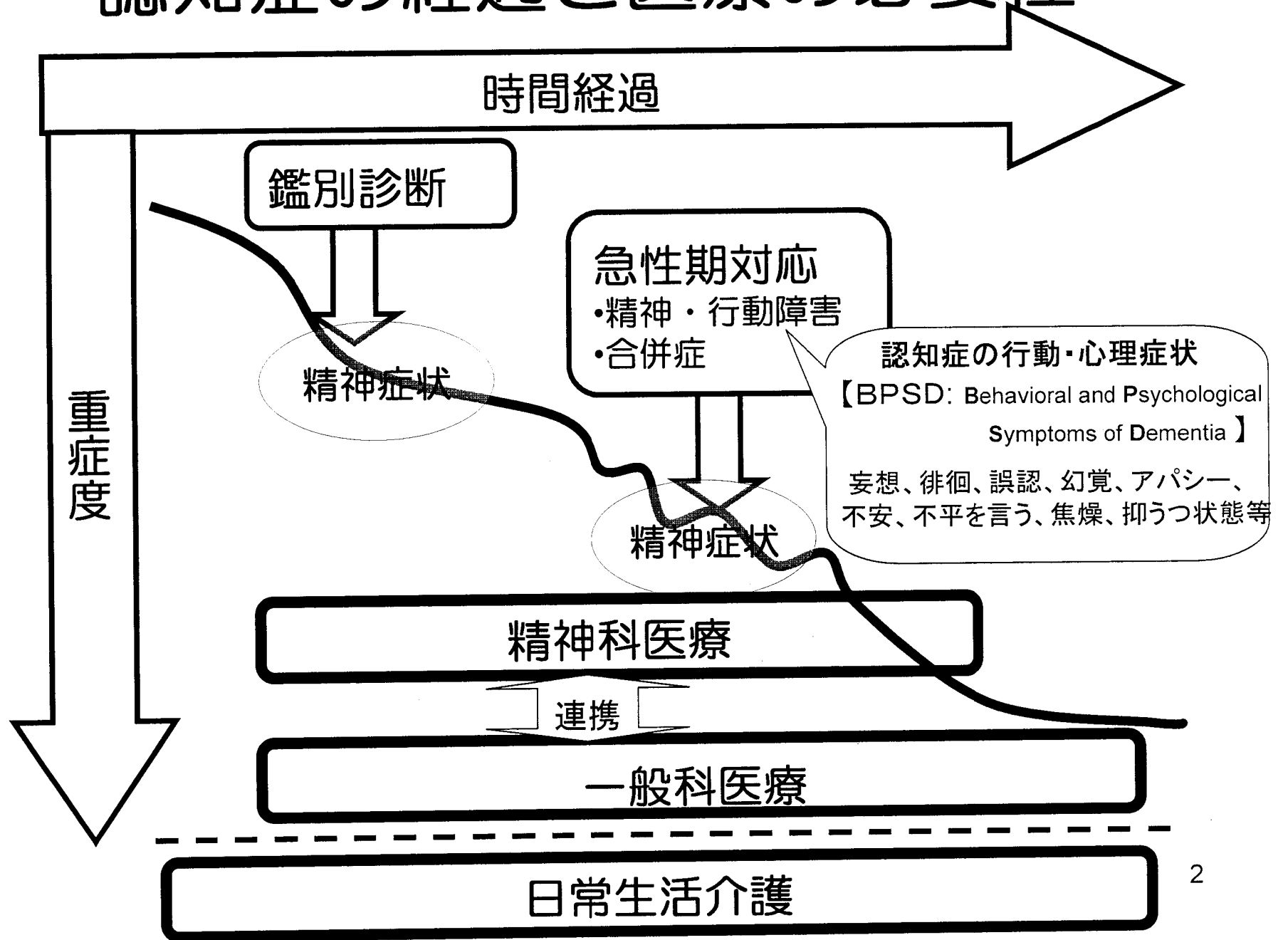


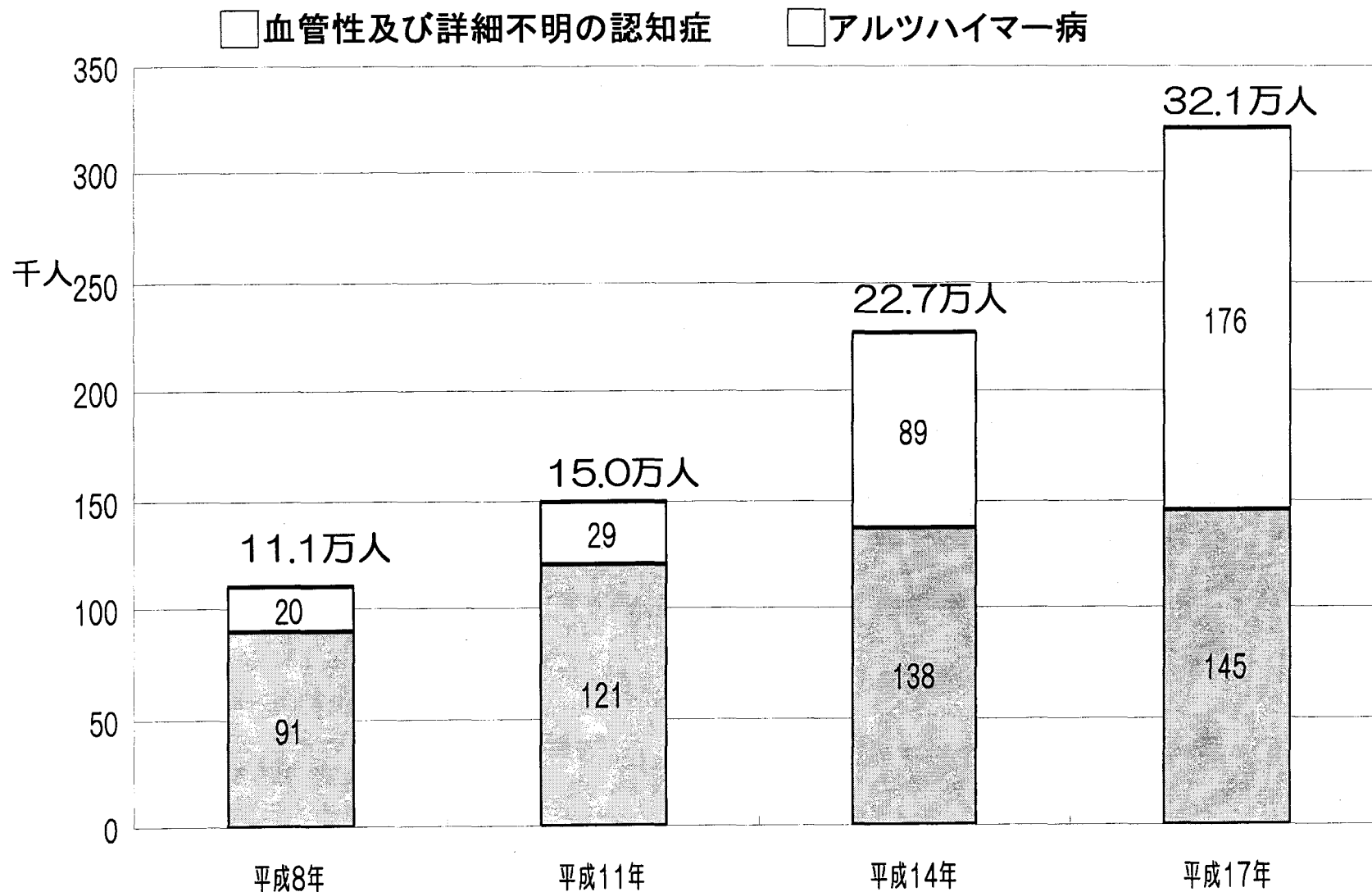
# 認知症の医療について

# 認知症の経過と医療の必要性



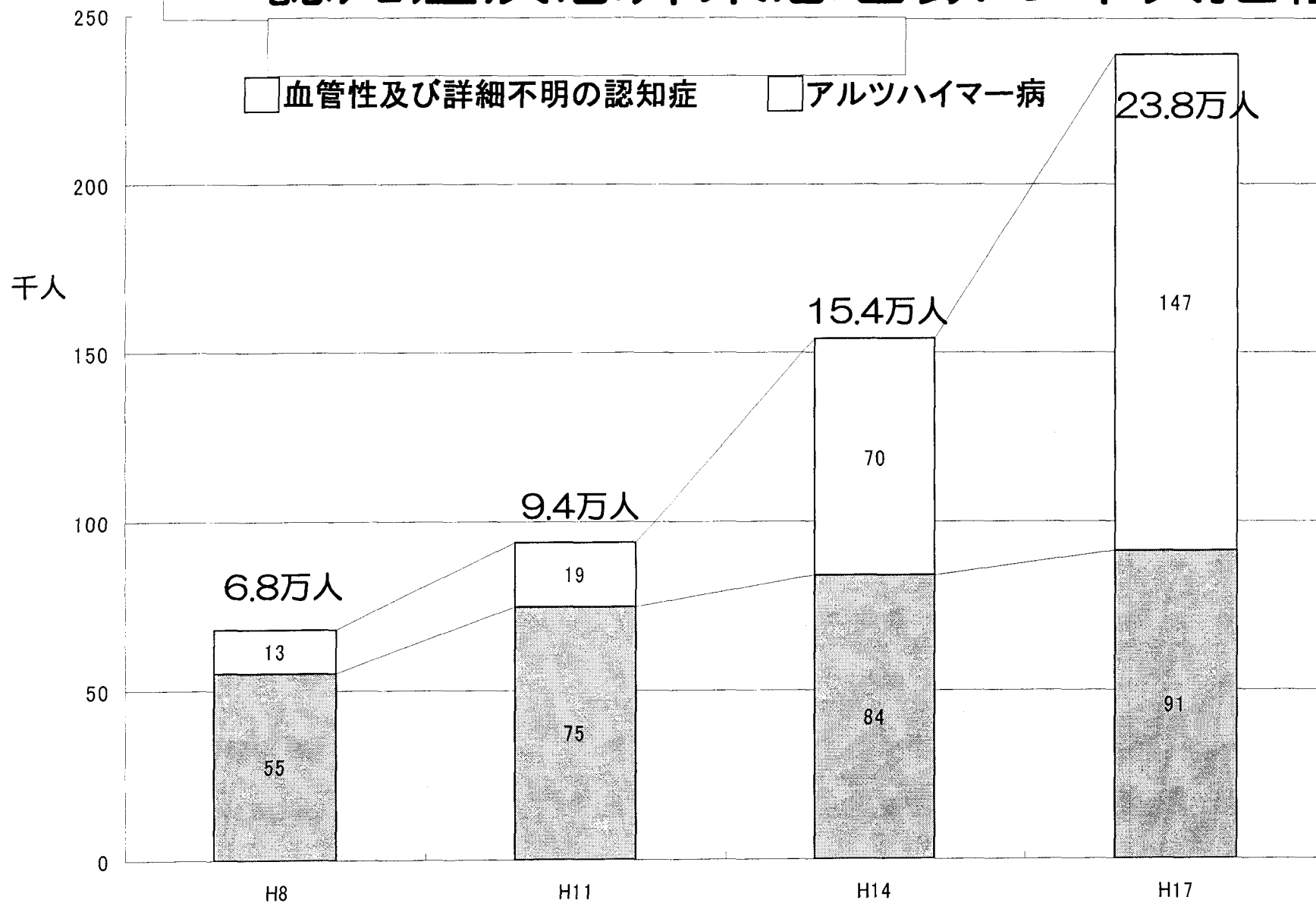
# 認知症疾患総患者数の年次推移

(血管性及び詳細不明の認知症及びアルツハイマー病を主傷病とする患者)



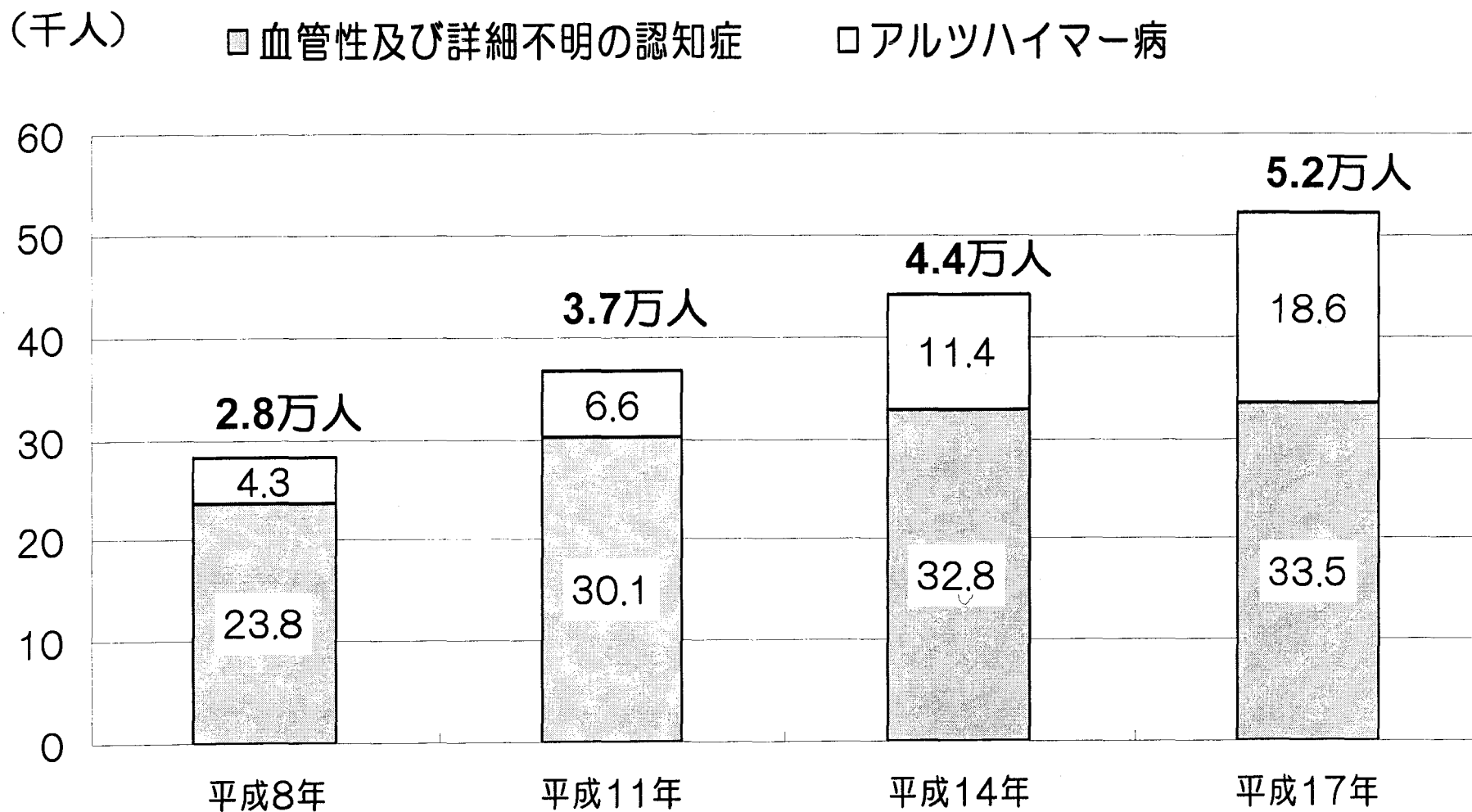
【出典】患者調査

# 認知症疾患外来患者数の年次推移



【出典】 患者調査

# 精神病床における認知症疾患入院患者数の年次推移



## 認知症対策において、医療が果たす役割

- ① 迅速な鑑別診断と療養（医療・介護）方針の決定
- ② 入院を含む適切な急性期対応（BPSD、身体合併症）
- ③ 地域での療養（医療・介護）体制の確保

## ①迅速な鑑別診断と療養（医療・介護）方針の決定

### 【果たすべき役割】

- 認知症の早期の発見
- 早期の専門医療へのアクセス
  - 的確な鑑別診断
  - 診断された原因疾患や病状の重さに応じた療養方針の決定

# 認知症の原因疾患

- 治療が困難な疾患
  - アルツハイマー病, レビー小体型認知症, 前頭側頭葉変性症(ピック病), などの変性性疾患, 頭部外傷
- 予防が重要な疾患
  - 多発性脳梗塞, 脳出血, ビンスワンガー病などの血管障害
- 治療が可能な疾患
  - 正常圧水頭症, 慢性硬膜下血腫, 脳腫瘍などの外科的疾患
  - 甲状腺機能低下症, ビタミン欠乏症などの代謝性疾患
  - 脳炎, 髄膜炎などの炎症性疾患
  - 廃用症候群(他の認知症に合併することが多い)



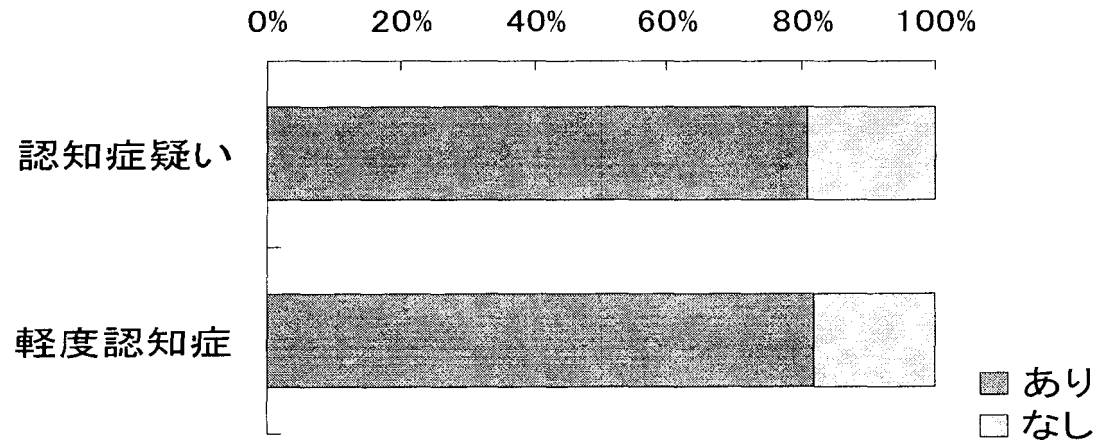
## 認知症に関連する疾患（症状）と対応等の関係例

	疾患(症状)名	対応と予後
認知症と間違えやすい状態	薬剤性せん妄	原因となっている薬剤の減量により、せん妄(認知症様症状)の改善が見込まれる。
	うつ病	うつ病の治療を行うことにより、抑うつ症状や認知機能障害の改善が見込まれる。
治療が可能な認知症	正常圧水頭症、慢性硬膜外血腫	脳外科的治療により脳への負担を軽減すると、認知症や歩行障害、失禁などの改善が見込まれる。
予防が可能な認知症	多発性脳梗塞による脳血管性認知症	生活習慣改善、基礎疾患の治療により、認知症の進行の予防が見込まれる。また、デイサービスの活用により、廃用症候群を予防し、寝たきりや認知症の重症化を回避できる。
療養の工夫によりQOLの改善が可能な認知症(症状)	ピック病	重度認知症デイケア等の活用により生活リズムを改善することで、周辺症状の減少が見込まれる。
アルツハイマー病による周辺症状	昼夜逆転	介護保険サービス(デイサービス)の活用により生活リズムを改善することで、周辺症状の減少が見込まれる。
	物盗られ妄想	介護者にあらかじめ対応方法を教育しておくことで、周辺症状発生時のトラブルの予防が見込まれる。

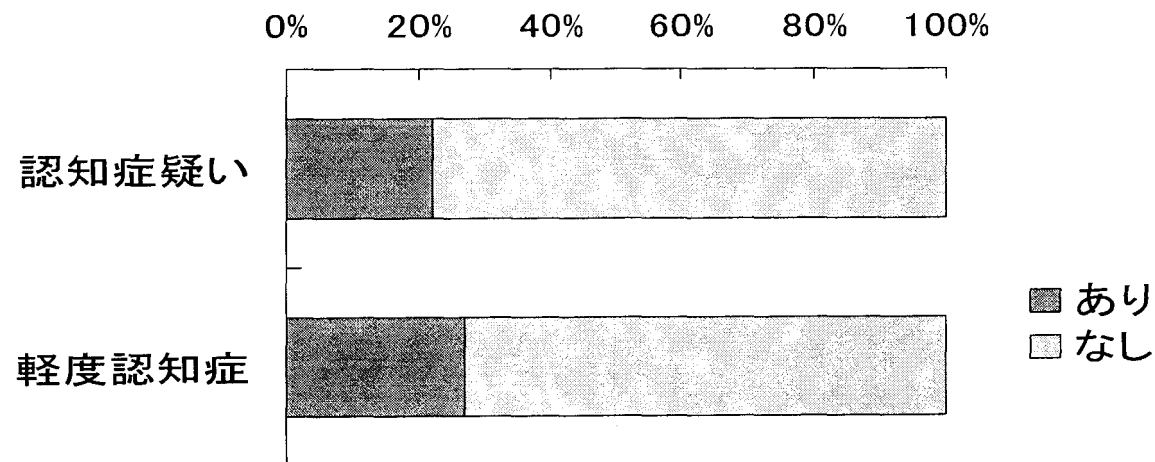
# 認知症疑いと軽度認知症高齢者の かかりつけ医の有無と診断歴

(a) かかりつけ医

(栗原保健福祉事務所 1996-2001, N=82)



(b) 認知症・その他の精神障害の診断歴



(栗田主一, 老年精神医学雑誌 13: 1175-1184, 2002)

## ①迅速な鑑別診断と療養（医療・介護）方針の決定

### 【現状と課題】

- 認知症症状への理解不足等によりかかりつけ医で認知症が見落とされている
- 認知症疾患医療センター等地域の認知症医療の中核となる医療機関が十分に確保・整備されていない
- 結果として、鑑別診断、治療開始が遅延し、適切な療養方針が立てられていない

# ①迅速な鑑別診断と療養（医療・介護）方針の決定

## 【今後の対応】

- 認知症診療ガイドラインの確立・普及方策の検討
- かかりつけ医等における認知症診断等の能力の一層の向上（かかりつけ医認知症対応力向上研修等）
- 認知症疾患医療センターを中核とした医療体制の充実
  - 認知症疾患医療センター等の専門医療機関の整備促進
  - 認知症疾患医療センターを中核とした地域の医療・介護との連携の推進による、専門医療とかかりつけ医・介護従事者との双方向アクセスの向上
  - 認知症医療に関する情報提供
  - 認知症疾患医療センター等、地域の中心的な医療機関向けの全国規模の研修会の実施